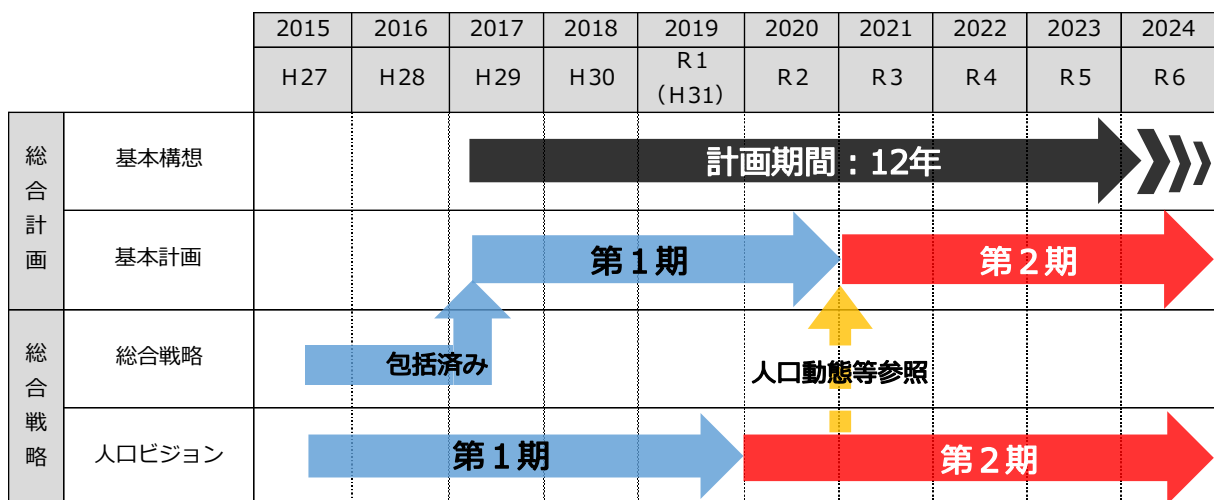


第 2 次甲賀市総合計画

(第 2 期基本計画) (案)

オール甲賀で未来につなぐ チャレンジプロジェクト 2. 0

令和 3 年 1 月 1 日 (時点)



1. 基本計画の位置づけと機能

甲賀市市民憲章

わたしたちは「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」を目指して、この憲章を定めます。

あふれる愛に	あなたも仲間
いろどる山河と	生きいき文化
こぼれる笑顔に	応える安心
うみだす活力	受けつぐ伝統
かがやく未来に	鹿深の夢を

第2次甲賀市総合計画は、「甲賀市市民憲章」や「甲賀市まちづくり基本条例」が目指すまちの姿をうけ、基本構想において私たちが共に展望する「未来像」を掲げています。

12年を期間とする基本構想を踏まえて、4年を1期とする基本計画において、その「未来像」に向かうための施策の方向性を示します。

甲賀市まちづくり基本条例

目指すまちの姿

市民、議会及び市長等は、まちづくりの担い手として、自ら輝く未来のために次に掲げる本市のあるべき姿を考え、その実現に向けて行動します。

- (1) 誰もが等しく個人として尊厳及び権利が守られるまち
- (2) それぞれの地域の特性を生かしながら、時代の変化に対応できる活力のあるまち
- (3) 誰もが地域で社会生活を営み、互いに支え合って安心して暮らすことができる福祉のいきとどいた住みよいまち

基本計画では、市民憲章の理念を「施策の体系」の柱とし、計画の全体像を示すとともに、4年間の集中的に取り組む施策を掲げています。「分野別の施策」では、各分野で私たちが望む「市民像」「目標像」及び「成果指標」を掲げて、具体的に取り組む内容を示しています。

第2次甲賀市総合計画基本構想

未来像

あい甲賀 いつもの暮らしに
「しあわせ」を感じるまち

第2次甲賀市総合計画 基本計画

まちづくりの各分野における施策の展開を、体系立てて整理しています。分野ごとの計画期末に望む姿を示しています。

- 市民像（魅力的な市民の姿）
- 目標像（まちや人の姿）
- 成果指標（達成を測るものさし）

<分野別計画>

- 新市建設計画
- 行政改革大綱
- 地域福祉計画
- 都市計画マスタープラン
- 教育大綱 など
- ※基本計画は甲賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略を包括しています。

各分野別計画

2. 行政経営の方針

(1) 特に注力すべき分野

特1. 徹底的な行政改革による持続可能な自治体経営

特2. 市民、事業者等に寄り添う、きめ細かな新型コロナウイルス対策

(2) 分野横断の基本的姿勢

①市民の力を活かす

- ア. 市民やNPO、民間事業者の力を最大限に引き出すため、事業のアウトソーシングや民営化を進めるとともに、短期では成果に結びつかずとも、官民双方の協力により切磋琢磨を積み重ねるなかで、成果を生み出します。
- イ. 市内一律ではなく、地域性・多様性を活かした自治振興会、市民活動団体等の取り組みを応援し、多様な市民自治への分権を進めます。
- ウ. 地域における暮らしの課題（移動、買い物、医療など）をビジネス的手法で解決する「ソーシャル・ビジネス」への支援を充実させます。

②仕組みを変える

- ア. Society5.0を見据え、未来技術を活用した地域課題の解決を図るため、スマートシティの実現に取り組みます。
- イ. 不便、過剰な規制や複雑な仕組みが民間投資やイノベーションを阻害し、市民の利益を損なっていることから、真の公益性を見つめ直すとともに、原則、自由型（オプトアウト型、問題発生時に規制、禁止）の行政経営へと思考を転換します。
- ウ. バックキャスト（未来起点）による政策立案を進めるため、政策形成過程における市民、議会との議論や、専門人材の参画を進めます。
- エ. 全国に向けて「まちの魅力」を売り込み、市民、企業から「選ばれるまち」となることで、「稼ぐ力」による持続可能性を高めます。

③人を育て、人をつくる

- ア. 地域経済を牽引するものづくり企業や、福祉・介護分野における人材を育てます。
- イ. 市内の中小企業、地場産業、農林業における担い手づくりに取り組みます。
- ウ. 外国人人材がその能力を最大限に発揮し、地域における新たな担い手として定着できるよう、積極的な受け入れ体制の構築や共生支援を進めます。

④いつもの暮らしを守る

- ア. 鉄道やコミュニティバス、予約型乗合タクシー、地域自主運行などによる公共交通機関の利便性向上と、これらのベストミックスによる最適化に取り組みます。
- イ. 大規模な地震災害や、これまでに経験したことのない異常気象による水害・土砂災害に備え、国土強靱化を進めるとともに、新たな感染症対策に取り組みます。
- ウ. 多様な価値観、多様な生き方・働き方など「新しいライフスタイルの実現」に向けて、地域住民、企業等とともに取り組みます。

⑤地域共生社会を築く

- ア. 介護や障がい、子育て、生活困窮など、制度の狭間で課題を抱える市民を誰一人取り残さない、持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現します。
- イ. 人生100年時代を見据えた健康寿命の延伸に取り組むとともに、女性や高齢者、障がい者などの「全世代活躍」を推進します。
- ウ. SDGsの理念とともに、経済・社会・環境の調和を図ります。

3. 分野別の施策（7つのチャレンジ&20分野の施策）

7つのチャレンジ		番号	分野	施策
1	誰もが主役となり、持続可能なまちとなる	1	市民自治	①自治振興会活動の促進 ②市民活動ネットワークの促進
		2	市民共生	①人権教育、啓発の推進 ②多文化共生の推進 ③人権に関する相談、支援の充実
		3	男女共同参画	①男女共同参画社会づくりの推進
		4	シティセールス	①シティセールスの展開 ②広報力・情報発信の強化
2	人と文化を未来につなぐ	5	環境・資源・エネルギー	①自然環境の保護、活用 ②生活環境の保全 ③資源、エネルギーの有効活用の推進 ④廃棄物の適正処理
		6	歴史・文化財・景観	①文化財等の調査と保護 ②文化財等の活用 ③景観の保全と創造
		7	生涯学習・文化・スポーツ	①生涯学習環境の充実 ②文化、芸術の振興 ③スポーツの振興
3	住み慣れた地域での暮らしを守る	8	地域福祉	①長寿、生きがいづくり ②障がい福祉の充実 ③地域共生社会の実現 ④セーフティネットの充実
		9	保健・医療	①健康寿命の延伸 ②疾病予防、早期対策の推進 ③地域医療体制の確保 ④保険制度の適正運用
		10	住まい・生活	①良質な住宅資産の形成と活用 ②公営住宅の整備、維持管理 ③上下水道事業の健全運営 ④公園の整備、維持管理
		11	安全・防災	①安全、安心対策の強化 ②地域防災体制、基盤の強化 ③消防体制、基盤の充実 ④治水、砂防の推進

7つのチャレンジ		番号	分野	施策
4	地域の「稼ぐ力」を高める	1 2	農林畜水産	①農畜水産業の安定経営の確保 ②地域ブランドの展開 ③林業の振興 ④鳥獣害対策の推進
		1 3	商工観光	①商業の振興 ②地場産業の振興 ③工業の振興 ④観光資源の活用と観光客の誘致
		1 4	活躍・雇用	①起業、就労支援の促進 ②女性の活躍 ③ワーク・ライフ・バランスの推進
		1 5	道路・交通	①広域幹線道路の活用促進 ②市道（幹線道路網）の整備 ③生活道路等の整備と維持管理 ④地域公共交通の維持と利便性向上 ⑤鉄道利用環境の改善・整備
		1 6	都市形成	①拠点を形成する市街地の整備 ②土地利用の誘導
5	結婚、出産、育児の希望に応える	1 7	子ども・子育て	①産前産後、乳幼児期の安心の確保 ②就学前教育、保育の充実 ③放課後の児童対策の充実 ④地域の子育て力の向上
		1 8	学校教育・青少年	①学校教育の充実 ②教育環境の充実 ③青少年の健全育成
6	徹底的な行政改革による持続可能な自治体経営	1 9	行財政	①職員力の向上 ②行政サービスの効率化 ③公共資産マネジメント ④持続可能な財政運営
7	市民、事業者等に寄り添う、きめ細かな新型コロナウイルス対策	2 0	新型コロナウイルス対策	①市民の生命、健康、安全の確保 ②地域経済の復興

4. チャレンジ目標

アフターコロナにおける「新しい豊かさ」によるまちづくり

社会の成熟化が進むなか、これまでのモノやお金に依存する価値観はゆるやかに薄れ、多様化しつつあります。そのようななか、新型コロナウイルス感染症による世界的な危機は、社会・経済情勢に大きなインパクトを与え、「いつもの暮らし」の大切さを再認識することとなりました。

そして、少子高齢化、多国籍化、働き方の多様化が進むなか、社会を一面的に捉えたこれまでの「仕組み」では、行政の根幹的な責務である「市民の生活を安定的に継続させながら、生命・財産（経済活動）を守ること」の難しさも実感しました。

これからの4年間は、アフターコロナにおける「新しい価値観」「新しい生き方」「新しい家族のあり方」を包摂した「新しい豊かさ」を、市民、地域コミュニティ、市民活動団体、民間事業者の皆さんとともに追求します。

新しい「いつもの暮らし」への挑戦です。オール甲賀で一緒に取り組みましょう。

「新しい豊かさ」を追求する視点

1. 自然と調和のとれたセンスのある景観づくり
2. 「自分らしく」誇りと逞しさ養う次世代教育
3. アフターコロナを見据えた医療体制の充実
4. 誰にも居場所がある支え合いの福祉
5. スマートシティ、スマート自治体による利便性の向上
6. 時代を超えた歴史、文化、芸術に包まれた豊かな暮らし
7. ローカル経済による支え合いと安全な消費づくり
8. 都市部とのアクセスメリットを活かした便利なゆっくり暮らし
9. 若者層が挑戦できるまちづくり
10. 誰もが移動しやすい市内交通ネットワーク環境

※「新しい豊かさ」アイコン



- ①自然との調和、②景観、③シビックプライド、④次世代教育、⑤医療の充実、⑥みんなの居場所、⑦支え合いの福祉、⑧歴史・文化・芸術のある暮らし、⑨スマートシティ、⑩スマート自治体、⑪ローカル経済、⑫地産地消、⑬便利な田舎暮らし、⑭若者の挑戦、⑮交通ネットワーク、⑯民間活力、⑰帰郷（U I J ターン）、⑱環境

これまで進めてきた20分野の取り組みに

「新しい豊かさ」のエッセンス（切り口）を組み込みます。

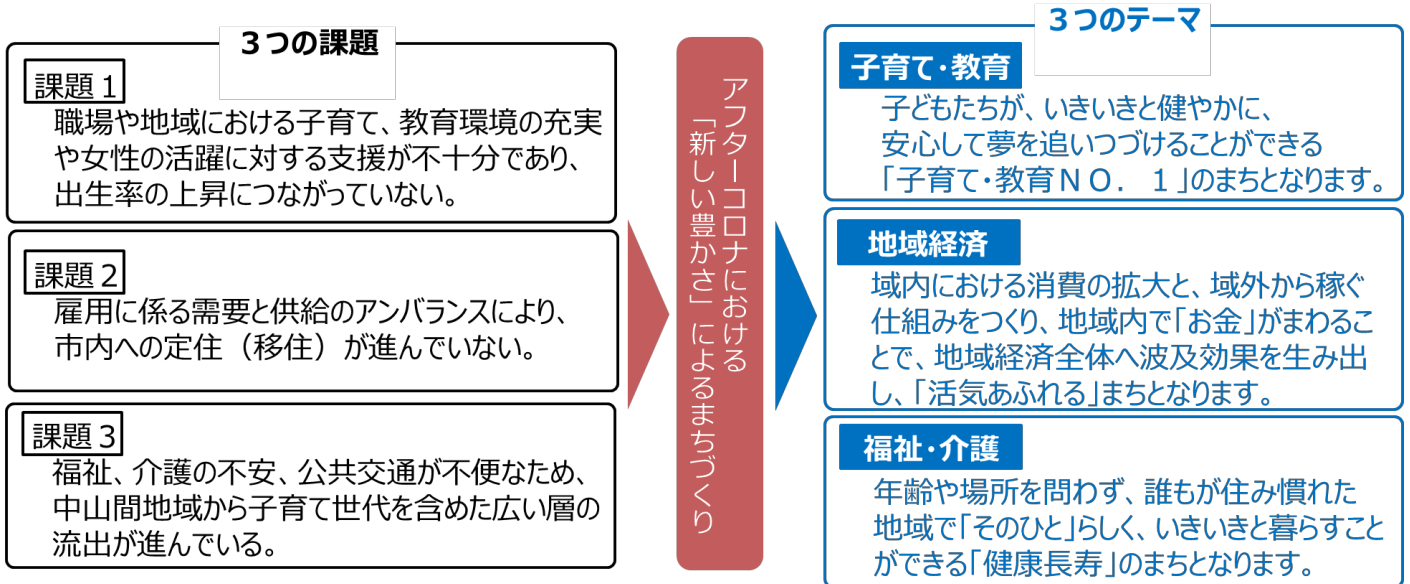
新しい豊かさ

×

20分野65施策

5. 3つのテーマ

第2次甲賀市総合計画は道半ばであり、未だ課題は解決しておらず、3つのテーマは変えませんが、その前提として、アフターコロナを見据えた視点が新たに入ります。



市民の力を結集！「オール甲賀」のまちづくり

「オール甲賀」とは・・・
市民、地域コミュニティ（自治振興会、区・自治会）、市民活動団体、民間事業者（企業、農業者、金融機関など）の多くの皆さんに協力いただき、市民の活力を最大限に活かすムーブメントのことです。

